

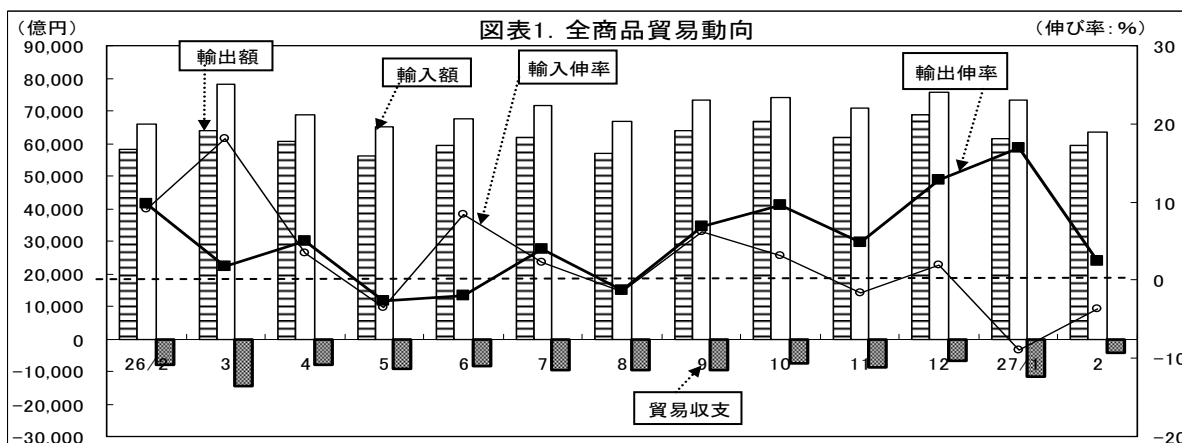
## 最近の機械貿易動向(2月)～機械輸出6ヶ月連続でプラスも伸び率大幅鈍化～

日本機械輸出組合 2015.4.16.

平成27年2月の機械輸出額は3兆8,284億円、対前年同月比2.5%増と伸び率は鈍化したものの、6ヶ月連続でプラス成長となった。これは、①ドル高が進んだこと、②機械輸出額の約36%を占める自動車をはじめ、産業機械、電子デバイス等がプラスになったことなどによる。為替要因と春節の影響を合わせて6.5%の増加要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は3.8%減と5ヶ月ぶりのマイナスとなった。2015年3月は為替や営業日要因を考慮すると19.7%の増加要因となり、仮に2月の機械輸出額の実質的伸び(3.8%減)が続くとすれば、前年比15.1%増と予想されたが、4月8日発表の貿易統計速報によれば3月上中旬の全商品輸出は8.8%増であった。

### 1. 全商品貿易動向～輸出は6ヶ月連続でプラスも伸び大幅減、輸入は2ヶ月連続でマイナス～

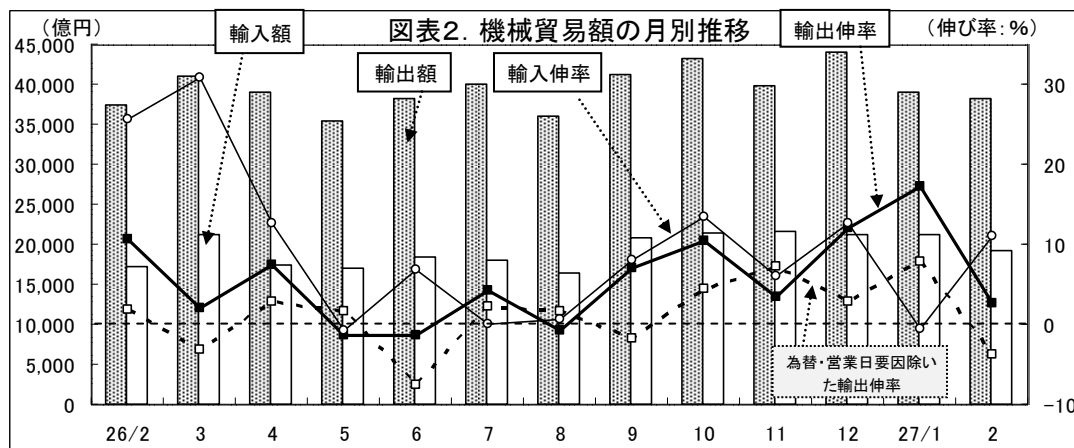
- 平成27年2月の全商品輸出額は**5兆9,414億円**、前年同月比(以下同じ)**2.5%増**と6ヶ月連続でプラス成長となったが、伸びは大幅に減少した(1月17.0%増)。これは、全輸出額の約20%を占める一般機械(0.6%減)がマイナスとなり、24%の自動車等輸送用機器(4.1%増)、17%の電気機器(6.0%増)の伸びが減少したためである。
- 輸入額は**6兆3,665億円**、**3.6%減**と2ヶ月連続でマイナスとなった(1月9.0%減)。全輸入額の約15%を占める電気機器(14.0%増)、9%の鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(21.4%増)、一般機械(14.3%増)は増加したものの、約25%を占める原粗油等鉱物性燃料(35.6%減)が原油価格下落で大幅に減少したことによる。
- この結果、輸出が増加し、輸入が減少したため、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は4,250億円の赤字と、昨年1月に比べて赤字幅が約47%減少した(昨年1月は8,061億円)。



### 2. 機械貿易動向

#### (1) 機械輸出入動向～輸出は6ヶ月連続でプラスも伸び率大幅鈍化、輸入は再びプラスへ～

- 全商品輸出額の約64%を占める2月の機械輸出額は**3兆8,284億円**、**2.5%増**と6ヶ月連続でプラスとなったものの、伸び率は鈍化した(1月17.2%増)。輸出額の水準は、リーマンショック前(2008年2月)と比べると**80.7%**となり、前月に比べて8.3ポイント後退した(1月89.0%)。
- 一方、全商品輸入額の約30%を占める機械輸入額は、**1兆9,171億円**、**11.0%増**と再び大幅なプラスとなった(1月0.5%減)。リーマンショック前(2008年2月)の水準と比較しても29.6%増となっている。

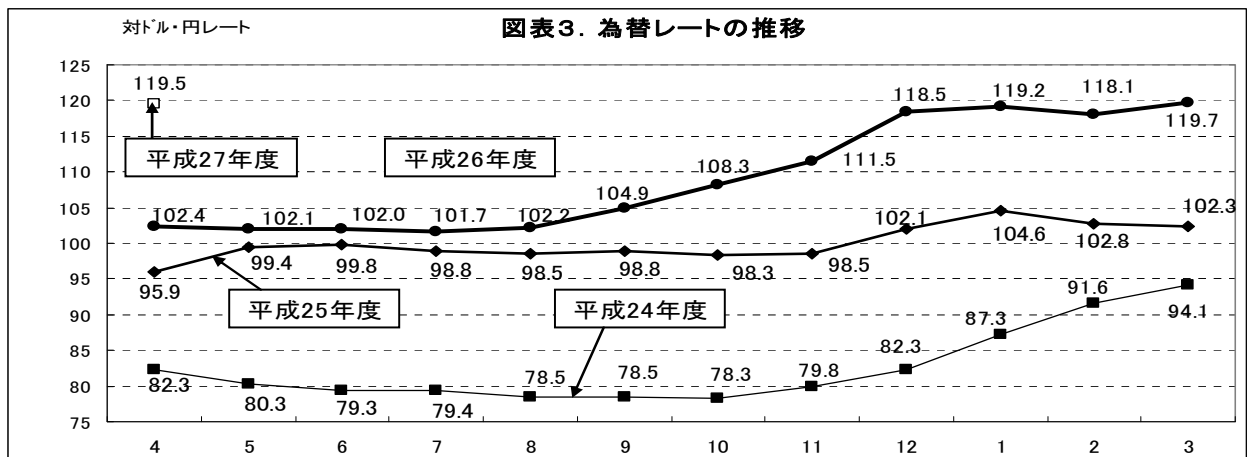


(2) 為替動向・営業日～2月は6.5%の増加要因、3月は約19.7%の増加要因～

1) 2月は1ドル=118.1円となり、前年に比べ14.9%の円安となった。また、対ユーロは134.6円と前年に対して3.7%の円高となり、合わせて約7.8%の為替増加要因となった。営業日は前年と同じであるが、春節の影響で中華圏の営業日は前年に比べて1日少なく、1.2%の減少要因となり、合計で約6.5%の増加要因となる。2月の輸出額は2.5%増であったことから、実質的伸び率は3.8%減と5ヶ月ぶりのマイナスとなった(1月7.8%増)。

2) 3月は1ドル=119.7円で前年比17.0%の円安、対ユーロでは133.4円で前年比5.3%の円高となり、合わせて約8.8%の為替増加要因となった。営業日は前年より2日多いため、10.0%の増加要因となり、合計で約19.7%の増加要因となる。

3) 4月は、対ドルが4月15日17:00時点の119.5円とすれば、前年に比べて16.7%の円安、また、対ユーロは126.7円で10.4%の円高となり、合わせると約8.3%の為替増加要因となる。営業日は前年と同じため、合計で約8.3%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～ASEAN・南アジア、北米向けが二桁成長の一方、中国、韓国・台湾向けがマイナス～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、最も伸びたのが、①16.2%を占める ASEAN・南アジア向けで、ベトナム(77.1%増)、インド(17.0%増)、フィリピン(15.6%増)、パキスタン(13.2%増)等が大幅に増加し、業種では、全体の25%を占める自動車(12.6%増)に加え、産業機械(13.2%増)、電子デバイス(26.4%増)、工作機械(2.1倍)等が増加して15.4%増となり、②次に伸びたのは26.5%を占める最大輸出先の北米向けで、全体の49%を占める自動車(15.5%増)をはじめ、航空機部品(24.9%増)、建設機械(39.1%増)等が大幅に増加して13.9%増となった。③11.6%のEU向けでは、34%を占める自動車(9.5%増)をはじめ、工作機械(32.0%増)、建設機械(14.1%増)等が増加して2.7%増となり、④19.4%を占めるその他地域向けは、ロシア東欧等(25.1%減)、アフリカ(15.8%減)向けがマイナスとなったものの、中近東向け(14.7%増)等がプラスとなり、機種では船舶(38.1%減)がマイナスとなったものの、全体の60%を占める自動車(1.8%増)、産業機械(83.1%増)等が増加して0.3%増となった。

2) 他方、減少したのは①17.3%の中国向けで、全体の19%を占める産業機械(23.3%減)、自動車(34.5%減)、光学機械(5.4%減)等がマイナスとなって15.6%減となり、②8.9%の韓国・台湾向けは、電子デバイス(16.4%増)が増加した一方、半導体製造装置等産業機械(15.4%減)がマイナスとなって0.8%減となった。

3) また、リーマンショック前の2008年2月の地域別輸出額と比較すると、ASEAN・南アジア向けが100%を超えたものの、北米、中国、その他地域向けが80%台、韓国・台湾向けが70%台、EU向けが50%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2014/12			2015/1			2015/2			対08年 2月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	44,003	12.0	100.0	38,951	17.2	100.0	38,284	2.5	100.0	0.81
北米	11,603	21.9	26.4	9,900	15.6	25.4	10,154	13.9	26.5	0.86
中国	9,332	4.2	21.2	7,911	31.2	20.3	6,631	▲15.6	17.3	0.85
ASEAN・南アジア	6,711	14.0	15.3	6,020	26.2	15.5	6,211	15.4	16.2	1.07
EU	5,011	5.4	11.4	4,722	8.2	12.1	4,441	2.7	11.6	0.54
韓国・台湾	4,126	12.2	9.4	3,628	21.2	9.3	3,416	▲0.8	8.9	0.76
その他	7,221	11.5	16.4	6,769	4.0	17.4	7,431	0.3	19.4	0.80

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。

図表5. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位:億円、%)

国名	2014/11		2014/12		2015/1		2015/2	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	2,042	17.4	2,133	22.5	1,947	32.3	1,847	2.0
台湾	1,689	▲ 0.5	1,993	2.9	1,681	10.5	1,569	▲ 3.9
<b>ASEAN・南アジア</b>								
タイ	1,729	▲ 2.2	1,800	4.8	1,661	19.0	1,677	7.4
シンガポール	951	▲ 4.0	931	11.8	1,043	39.8	959	9.2
インドネシア	693	▲ 17.3	851	▲ 8.7	650	▲ 14.2	762	0.7
マレーシア	676	▲ 3.9	749	▲ 2.3	644	10.4	728	8.1
フィリピン	580	16.8	636	30.0	569	27.2	593	15.6
ベトナム	681	49.4	794	64.3	720	125.4	720	77.1
インド	408	29.0	472	26.2	336	6.1	371	17.0
パキスタン	95	13.5	145	34.1	86	18.1	110	13.2
<b>その他地域</b>								
中南米	1,984	1.4	2,344	18.2	1,977	5.1	2,442	5.3
中近東	2,186	19.4	2,451	27.9	1,715	5.4	2,120	14.7
大洋州	1,132	6.2	1,020	2.2	1,205	11.8	1,167	8.3
ロシア東欧等	856	▲ 17.9	812	▲ 23.4	978	▲ 26.7	1,024	▲ 25.1
アフリカ	693	▲ 1.4	676	15.8	950	55.9	685	▲ 15.8

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4) 業種別動向～21 業種中マイナスは 6 業種、電子デバイス・工作機械等が二桁の伸び～

- 業種別では、全 21 業種中 6 業種がマイナスとなり、前月より 4 業種増加した。業種では、全体の約 36%を占める自動車(4.9%増)が 3 ヶ月連続でプラスとなり、18%の産業機械(1.2%増)が 6 ヶ月連続、8%の電子デバイス(10.4%増)が 7 ヶ月連続のプラスとなり、工作機械(17.2%増)、航空機部品(22.5%増)、電子計算機(17.6%増)、医療機械(19.0%増)が二桁の成長となった。
- この結果、リーマンショック前の水準を超えたのは航空機部品、ベアリング、医療機械、軽機械、光学機械、工作機械の 6 業種で前月より 3 業種減少し、他方、電子計算機、鉄道車両、民生用電子機械が 40%台、産業車両が 50%台の低い水準にある。

図表6 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

2014/12				2015/1				2015/2				対08/2 比
業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	
自動車	15,198	10.3	34.5	自動車	12,915	10.2	33.2	自動車	13,637	4.9	35.6	0.79
産業機械	7,836	11.8	17.8	産業機械	6,662	21.0	17.1	産業機械	6,729	1.2	17.6	0.89
電子デバイス	3,490	18.1	7.9	電子デバイス	3,166	24.3	8.1	電子デバイス	2,939	10.4	7.7	0.79
軽電気機械	2,272	10.7	5.2	船舶	2,139	35.5	5.5	軽電気機械	1,902	0.9	5.0	0.78
重電気機械	2,230	13.5	5.1	軽電気機械	1,941	23.7	5.0	重電気機械	1,834	0.5	4.8	0.90
軽機械	1,764	12.2	4.0	重電気機械	1,937	23.8	5.0	軽機械	1,451	1.1	3.8	1.094
光学機械	1,758	15.4	4.0	軽機械	1,496	22.3	3.8	民生用電子機械	1,362	2.5	3.6	0.47
民生用電子機械	1,571	0.2	3.6	光学機械	1,478	23.5	3.8	光学機械	1,296	▲ 1.7	3.4	1.088
建設機械	1,276	19.8	2.9	民生用電子機械	1,476	22.5	3.8	船舶	1,289	▲ 27.2	3.4	0.72
工作機械	984	20.2	2.2	建設機械	918	6.7	2.4	建設機械	990	9.9	2.6	0.67
船舶	914	5.5	2.1	工作機械	869	40.1	2.2	工作機械	868	17.2	2.3	1.03
航空機部品	762	25.6	1.7	航空機部品	737	▲ 6.0	1.9	航空機部品	743	22.5	1.9	1.98
通信機械	693	30.3	1.6	通信機械	520	13.8	1.3	通信機械	508	8.5	1.3	0.62
電子計算機	581	2.1	1.3	電子計算機	452	15.1	1.2	電子計算機	476	17.6	1.2	0.44
医療機械	533	23.9	1.2	医療機械	415	36.2	1.1	医療機械	439	19.0	1.1	1.12
ベアリング	466	20.4	1.1	ベアリング	405	13.8	1.0	ベアリング	402	3.9	1.1	1.13
陸用内燃機関	424	17.5	1.0	陸用内燃機関	340	10.3	0.9	陸用内燃機関	356	▲ 5.0	0.9	0.84
農業機械	215	25.1	0.5	農業機械	166	15.9	0.4	繊維機械	178	▲ 42.0	0.5	0.59
繊維機械	165	▲ 29.8	0.4	繊維機械	137	▲ 16.6	0.4	農業機械	177	8.5	0.5	0.71
産業車両	128	4.3	0.3	産業車両	108	5.0	0.3	産業車両	119	▲ 5.9	0.3	0.52
鉄道車両	100	3.6	0.2	鉄道車両	72	4.7	0.2	鉄道車両	34	▲ 31.1	0.1	0.46
21業種合計	43,357		98.5	21業種合計	38,347		98.4	21業種合計	37,729		98.5	0.81

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン

・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器

・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品

・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信

(5)機種別動向～通信機械部分品、航空機部品大幅増も、繊維機械、発電機等大幅減～

1)10%以上の伸び率を示した機種は、①中国向け**通信機械部分品**(29.0%増)、②北米向け**航空機部品**(22.5%増)、③北米、EU 向け**医療機械**(19.0%増)、④北米、EU、中国向け**電子計算機**(17.6%増)、⑤ASEAN・南アジア、北米、中国向け**工作機械**(17.2%増)、⑥その他地域向け**貨物自動車**(13.6%増)、⑦中国、ASEAN・南アジア、韓国・台湾向け**その他の配電制御装置**(13.3%増)、⑧その他地域、北米向け**受信変換その他送受信**(13.1%増)、⑨中国向け**電池**(10.5%増)、⑩中国、ASEAN・南アジア、韓国・台湾向け**電子デバイス**(10.4%増)であった。

2)一方、最も落込み幅が大きいのが、繊維機械(42.0%減)、発電機(31.7%減)、鉄道車両(31.1%減)、船舶(27.2%減)であった。

図表7. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円、%)

2014/12			2015/1			2015/2		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
受信変換その他送受信	148	37.7	発電機	115	106.2	通信機械部分品	223	29.0
電動機	163	35.5	時計	97	54.4	航空機部品	743	22.5
通信機械部分品	340	32.2	電池	232	51.7	医療機械	439	19.0
原動力機械	567	30.2	工作機械	869	40.1	電子計算機	476	17.6
航空機部品	762	25.6	医療機械	415	36.2	工作機械	868	17.2
農業機械	215	25.1	船舶	2,139	35.5	貨物自動車	897	13.6
医療機械	533	23.9	デジカメ・ビデオ	385	33.5	その他の配電制御装置	812	13.3
写真機の部分品・附属品	152	22.2	金属加工機械	269	31.9	受信変換その他送受信	131	13.1
ベアリング	466	20.4	電動機	150	31.2	電池	212	10.5
工作機械	984	20.2	その他の重電気機器・部分品	491	29.9	電子デバイス	2,939	10.4
機種合計	4,329	* 9.8%	機種合計	5,161	* 13.3%	機種合計	7,740	* 20.2%

は、2ヶ月連続で上位機種 \* 機種合計の%は輸出額に占める割合  
 通信機械部分品:ゲートウェイ、リピーター等 受信変換・その他送受信:ルーター、LANスイッチ等  
 理化学用機器:物理・化学分析用機器の部品、電気式分析機器等 電動機:業務用モーター  
 その他の光学機器:レーザー、半導体検査装置等 その他の重電気機器・部分品:重電気機器部分品、交通管制用機器

図表8. マイナス伸び率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円、%)

2014/12			2015/1			2015/2		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
繊維機械	165	▲ 29.8	繊維機械	137	▲ 16.6	繊維機械	178	▲ 42.0
デジカメ・ビデオ	388	▲ 18.2	機種合計	137	* 0.4%	発電機	92	▲ 31.7
機種合計	552	* 1.3%				鉄道車両	34	▲ 31.1
						船舶	1,289	▲ 27.2
						半導体製造装置	1,187	▲ 13.6
						その他の重電気機器・部分品	427	▲ 12.2
						時計	73	▲ 8.5
						白物家電	291	▲ 8.1
						磁気カード・ディスク等	151	▲ 7.9
						原動力機械	477	▲ 7.3
						機種合計	4,198	* 11.0%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 \* 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6)機械輸入動向～2ヶ月ぶりにプラス。電子デバイス、自動車部品等が大幅増～

1)2月の機械輸入伸び率は11.0%増と2ヶ月ぶりにプラスとなった。乗用車(30.1%減)、電子計算機(4.6%減)、航空機・部品等(4.3%減)等がマイナスとなったものの、電子デバイス(14.4%増)、自動車部品(23.9%増)、白物家電(15.5%増)等がプラスとなったことによる。

2)なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は電子計算機、携帯電話、医療機械、白物家電、受信変換・その他送受信、配電機器、TV、時計、通信機械部分品となっている。

3)地域別機械輸入額は、全体の43%を占める中国(23.7%増)、韓国・台湾(16.0%増)、ASEAN・南アジア(7.7%増)、北米(1.4%減)、EU(4.7%減)、その他地域(7.7%減)の順であった。

図表9. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2014/12				2015/1				2015/2			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,448	14.9	11.5	電子デバイス	2,625	1.8	12.4	電子デバイス	2,406	14.4	12.6
電子計算機	2,143	▲ 2.6	10.1	電子計算機	2,108	▲ 16.9	9.9	電子計算機	1,919	▲ 4.6	10.0
携帯電話	1,692	34.0	8.0	携帯電話	1,316	▲ 7.3	6.2	携帯電話	1,178	3.6	6.1
航空機・部品等	1,242	75.7	5.9	自動車部品	1,216	4.0	5.7	自動車部品	1,140	23.9	5.9
乗用車	1,107	▲ 7.2	5.2	航空機・部品等	1,191	9.9	5.6	航空機・部品等	718	▲ 4.3	3.7
自動車部品	1,067	6.4	5.0	乗用車	946	2.2	4.5	医療機械	695	0.6	3.6
白物家電	694	▲ 0.8	3.3	白物家電	738	▲ 7.7	3.5	白物家電	686	15.5	3.6
医療機械	658	2.2	3.1	医療機械	639	▲ 3.5	3.0	乗用車	684	▲ 30.1	3.6
受信変換その他送受信	581	3.1	2.7	配電機器	607	▲ 0.5	2.9	受信変換その他送受信	560	9.7	2.9
配電機器	578	6.9	2.7	受信変換その他送受信	596	▲ 4.3	2.8	配電機器	540	23.5	2.8
その他の配電制御装置	408	17.5	1.9	その他の配電制御装置	445	19.1	2.1	その他の配電制御装置	375	43.7	2.0
コンデンサー等部分品	406	13.3	1.9	コンデンサー等部分品	394	▲ 6.2	1.9	風水力機械	338	28.0	1.8
12機種合計	13,024		61.4	12機種合計	12,821		60.5	12機種合計	11,239		58.6

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電:民生用電気機械  
 ・受信変換その他送受信:ルーター、LANスイッチ等 ・その他の配電制御装置:スイッチ、配電盤、制御盤等